

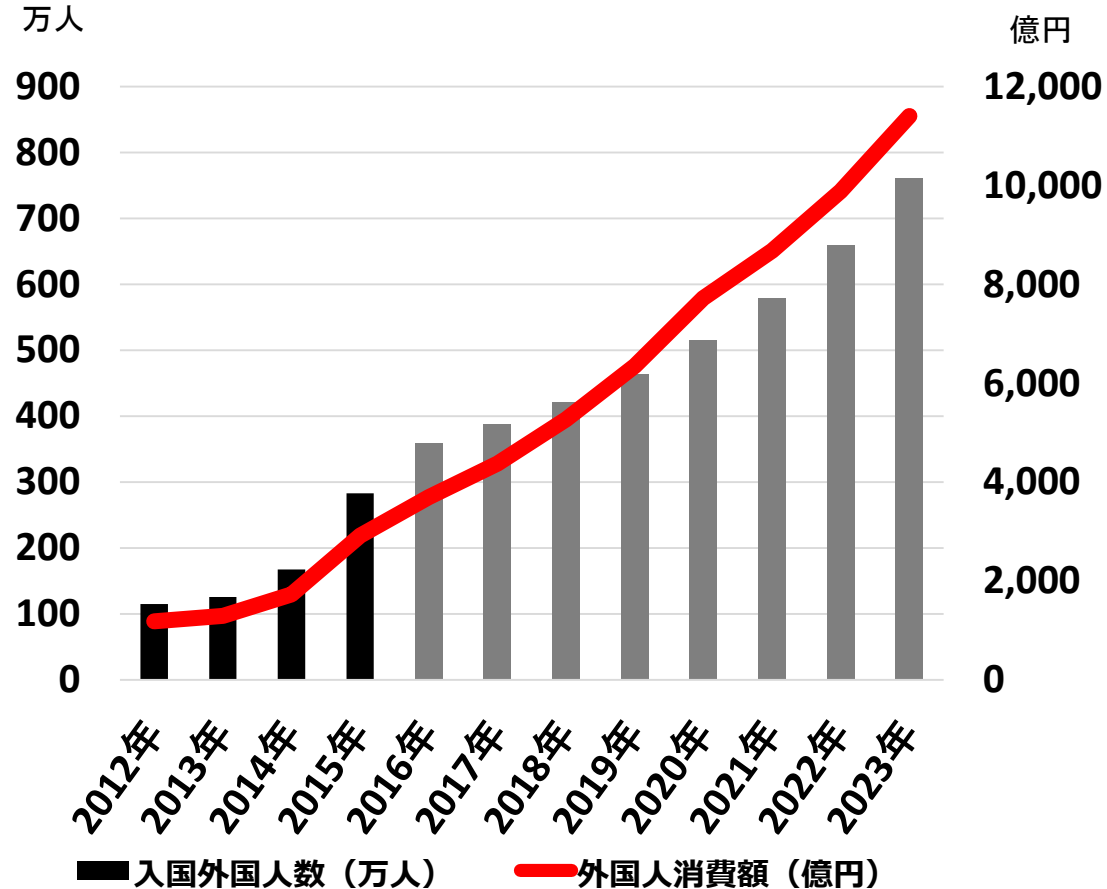
九州観光の現況と戦略

(一社)九州経済連合会

副会長 石原 進

九州観光の現状と課題

- 2015年の九州への入国外国人数は283万人、前年比169%とインバウンドが著しく伸びており、外国人消費額も2657億円（2015年11月時点）と大変活況。



- 九州入国外国人消費額 1.1兆円（2023年）を目指す。
 - ①九州入国外国人数 : 283万人 → 760万人
 - ②外国人一人あたりの消費単価 : 10.3万円 → 15万円

九州における観光戦略

- 九経連では、**観光産業を九州の基幹産業にする**取組みを推進。
- 具体的には、**観光地ルートづくり、おもてなし強化**などにより観光産業の活性化に取り組む。

九経連中長期事業計画 (2015～2020) ～Let's move JAPAN forward from 九州!～

- 九州の強みに磨きをかけた観光関連産業の振興
- 九州各県及び沖縄との連携強化による一体的な観光推進
- インバウンド市場の拡大
 - 航空路線・クルーズ市場の開拓
 - 外国人受入環境の広域整備(多言語対応・無料Wi-Fi整備・二次交通利用促進)
 - MICEの誘致 など

九州観光推進機構のRWC2019・オリパラ2020に向けた取組み

- 観光人材育成
 - 外部プロフェッショナルの活用
 - おもてなしセミナー開催
 - ボランティアガイド育成研修 など
- 人数UP + 消費単価UP
 - 九州ブランドイメージ向上(広報強化)
 - 観光地を巡るルートづくり
 - 多言語メニュー・店舗情報の提供整備(ぐるなび・JSTO提携) ツーリズム開発(医療・スポーツ・グリーン) など

今後の取り組み

- 九州エリアのお店が、プラットフォーム上で情報を共有・活用。
(事業者) 需要予測、マーケティング等のための情報取得コストの大幅な削減
(観光客) 地域内で一貫した新たなサービスの提供 を実現。

<プラットフォームのイメージ>

